静岡市 いきもの散策マップ

蒲原・御殿山コース

しょくぶつ

● ウラシマソウ

サトイモの仲間で毒があります。4～5月に花が咲き、花からたれる糸のようなものを浦島太郎の釣糸に見立てています。

● ニリンソウ

キンポウゲの仲間で、4～5月になると1本の茎に白色の花を2輪つけます。1輪や3輪の花をつけるものもいます。

● ヒガンバナ

秋のお彼岸の頃に、赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は、冬の間だけ見られます。全体に毒があります。

● ツルボ

ユリの仲間で、8～9月に淡い紫色の花を咲かせます。山野の陽当たりの良い場所に生えています。

● ツワブキ

10～12月に黄色の花が咲き、その後綿毛になります。葉につやがあり、山地の日陰によく見られます。

● ホタルブクロ

キキョウの仲間で、釣り鐘のような形をした桃色の花を、6～7月に咲かせます。草原や山地に生えています。

● イヌビワ

実の形がビワに似ていて、食べてもまずいことから「イヌビワ」と名前がついていますが、ビワではなく、イチジクの仲間です。

● ゴンズイ

秋に紅色の袋に包まれた黒い実をつけます。その実の形から「キツネの茶袋」とも呼ばれます。

● ノカンゾウ

ユリの仲間で、7～8月の昼間に橙色から赤色の花を咲かせます。陽当たりの良い湿った場所に育ちます。

● ツユクサ

7～9月に青色の花を咲かせます。早朝に咲いた花は昼頃にはしぼみます。人家付近の道ばたに多く育ちます。

● スルガテンナンショウ

サトイモの仲間で毒があります。山地の林内や林縁に生え、4～5月に淡い緑色の花を咲かせます。

● アカショウマ

山地の林の中やそのまわりに生えています。5～7月に白く小さな花をたくさん咲かせます。

● アブラギリ

秋に葉を落とす大きな木で、5～6月に白い花を咲かせます。種から塗料や油紙の材料となる油がとれます。

● ドクダミ

6～7月に白色の花を咲かせます。全体に独特のにおいがあり、薬やお茶に使われます。日かげの湿ったところに生えます。

● ヒメウツギ

アジサイの仲間で、秋に葉を落とす小さな木です。4～5月に白色の花を咲かせ、卵の花とも呼ばれます。

● ヤマツツジ

ツツジの仲間で、4～5月に淡赤色の花を咲かせます。主に山地の林内や林縁に生えています。

アクセス情報

八坂神社には駐車場はありません。公共の交通機関をご利用下さい。

【電車でのアクセス】
1. JR東海道本線「新蒲原駅」下車
2. 県道396号線（東海道）歩道橋を渡り、山側に向かい、蒲原宿「なまこ壁の家」の看板を右折（新蒲原駅より徒歩5分）

緊急連絡先

- **静岡県救急安心電話相談窓口　TEL：#7119**
  平日：18時～翌8時、土曜日：13時～翌8時、日曜日・祝日：8時～翌8時）
- **消防　119番**
- **警察　110番**

注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりしておきましょう。
- 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
発行者：**静岡市環境局**
〒420-8602　静岡市葵区追手町5番1号
TEL：054-221-1319　FAX：054-221-1492
制作年：令和8年2月

どうぶつ・とり

● キジバト

「デデッポー」と鳴き、くびに青色をおびた灰色の模様があるハトです。山地だけでなく、平地や市街地でも見られます。

● トビ

カラスより大きなタカの仲間です。トンビとも呼ばれ、輪を描きながら空高く飛びます。「ピーヒョロロロ」と鳴きます。

● アオダイショウ

全長1～2mになる本州最大のヘビで、全身褐色をおびたオリーブ色です。主に小型の哺乳類、小鳥を食べます。

● ヒガシニホントカゲ

山地から低地の陽当たりのよいところに生息し、小さな虫やクモなどを餌にします。幼体は青色、成体は褐色です。

● モズ

スズメより大きな鳥です。「キリキリ」「キィキィ」「キチキチ」など高い声でさまざまに鳴きます。人家の庭先でも見られます。

● ヤマガラ

スズメくらいの大きさで、「ツツピーツツピー」と鳴きます。公園などでも見られます。学習能力がとても高いです。

● モリアオガエル

体長4～8cmで、暗褐色や緑色をしたカエルです。「コロロ、コロロ」と鳴き、水上の小枝に泡のような卵を産みつけます。

● アズマヒキガエル

体長9～15cmになる大型のカエルで、頭の近くから毒を出します。繁殖期にオスは小さく「グッグッグッ」と鳴きます。

● シジュウカラ

スズメくらいの大きさで、「ツィピーツィピー」と鳴きます。山地から、人家のまわりでも見られます。

● ヒヨドリ

ハトより小さな鳥で、林や市街地、民家の庭で普通に見ることができます。木の実、果物を好んで食べます。

● タヌキ

中型の哺乳類で、足が短く、ずんぐりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。

● イノシシ

雑食性の大型哺乳類で、丈夫な鼻で土を掘り返して、植物の根やミミズなどを食べます。農作物にも深刻な被害を与えます。

● メジロ

ウグイスに似ていますが、背側は全体的に黄緑色で、眼のまわりが白いのが特徴です。人家の庭先でも見られます。

● ジョウビタキ

スズメより少し小さな鳥で、秋に日本へやってくる渡り鳥です。山地から住宅地で見られ、「ヒッヒッ」と鳴きます。

外来生物　特：特定外来生物

● アライグマ 特

北アメリカ原産の外来動物です。最近は数が増え、農作物被害や日本の動物との競い合いなどの問題が発生しています。

● ハクビシン

近年数が増え、分布を広げている外来種です。額から鼻にかけて白いので白鼻芯と言います。雑食性で木のぼりが上手です。

むし

● ツヅレサセコオロギ

体長1.5cmくらいの小型のコオロギで、8～11月に畑や草むらに見られます。「リーリーリー」と鳴きます。

● ショウリョウバッタ

メスは日本で最も大きなバッタです。オスは飛ぶ時に「キチキチ」と音を立てるので、キチキチバッタとも呼ばれます。

● アオスジアゲハ

林のまわりにいますが、市街地でも見られます。活発に飛びまわって、花を訪れます。幼虫はクスノキを食べます。

● ヒメウラナミジャノメ

4月から10月にかけて、3～4回発生します。林のまわりに多く、花の蜜を吸います。幼虫はイネ科の植物を食べます。

● アサヒナカワトンボ

体長4cmくらいの、金緑色で細い胴をもつトンボです。オスは、はねが橙色のものと透明なものがいます。

● ヒメカマキリ

体長3cmほどの小型のカマキリで、林のまわりで見られます。敵に追いかけられると、地面に落ちて死んだふりをします。

● モンキチョウ

春早くから秋遅くまで、堤防のまわりなどで見られます。幼虫はシロツメクサやレンゲを食べ、成虫は花の蜜を好みます。

● アサギマダラ

春には南から北へ、夏から秋には北から南へ、2世代かけて移動します。ヒヨドリバナが特に好きです。

他にもたくさんの生きものがいるよ！
二次元コードからのぞいてみよう!!

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう　検索

静岡市が運営するウェブサイト**「しぜんたんけんてちょう」**では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。
ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!（ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください）